

中日新聞グループ媒体ガイド 2024/2025

中日新聞グループ メディアパワー

こんな課題 抱えていませんか？

課題 関心が高まるタイミングを捉えたい

課題 街の魅力を発信したい

課題 地元で愛されるきっかけをつくりたい

課題 リアルイベントの集客を図りたい

課題 子育て層にアプローチしたい

課題 中部経済圏のマーケットに参入したい

課題 新聞広告を使う説得材料が欲しい



中日新聞社は、グループ力でソリューションを提供します

課題

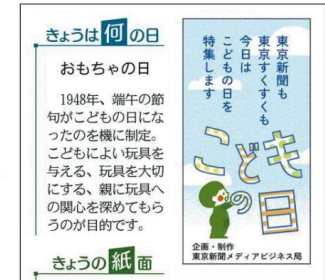
「関心が高まるタイミングを捉えたい」

#モーメント(その日・その時) #周年記念広告(アニバーサリー広告)

人々の関心や購買意欲が高まる瞬間、モーメントを捉える重要性が高まっています。タイミングを捉えた広告は、買いたい気持ちを後押しするだけでなく、企業のメッセージをより効果的に伝えます。「その日」「その時」に広告を届けられるのも、新聞広告ならではの長です。

東京新聞 「きょうは何の日」

東京新聞一面には365日「きょうは何の日」欄が設けられています。



アサヒビール

「日本のみなさん、おつかれ生です。」

課題

年末年始にアサヒビールの存在感を強く押し出す。

目的

アルコールを口にする機会の多い時季にアサヒ生ビール(マルief)を想起させるとともに、紙面を見て思わずホッとする広告を目指す。

プランニング

中日・東京新聞では見開き、中スポ・東中は全面を活用。芳根京子と松下洸平が笑顔でグラスを差し出し、1年間を労う。紙面を折ると2人が乾杯できるよう、新聞ならではの工夫を凝らした。

反響・効果

「一年の最後の日にビールを飲んで微笑みあう姿にほっとする」等、好意的な意見が集まった。



課題

「街の魅力を発信したい」

#体験型イベント #街メディア #顧客接点

デジタルを利用したバーチャルイベントが増えていく中で、みんなで体験を共有するリアルイベントの価値が見直されています。タウントレックは、チェックポイントを回ってゲーム感覚で街の魅力を発見できる東京新聞オリジナルの「体験型街歩きイベント」。首都圏を中心に各地で開催され、さまざまな形で企業・団体とのタイアップも可能です。

東京新聞オリジナル「体験型街歩きイベント」タウントレック



タウントレック専用アプリ
App Store、Google Play
からダウンロードできます



おおた鉄道タウントレック

課題

JR線蒲田駅と京急線京急蒲田駅をつなぐ新空港線のPRをしたい
大田区の魅力を区内外に発信したい

目的

鉄道・観光・グルメなど大田区の新たな魅力を再発見してもらう。

プランニング

東京都大田区内を走る鉄道沿線の観光やグルメ等を楽しむ体験型のまち歩きイベントを開催。鉄道・観光・グルメの3ジャンルをテーマに39箇所のチェックポイントを設定。

反響・効果

参加 219チーム 505人 (大田区内在住勤務443人、区外62人)。参加者からは「新しい大田区も見られて新鮮な驚き」という声。チェックポイントの店舗からは「普段よりかなり多くの来店があった」「初めてのお客さまも来てくれた」などの声をいただく。

新空港線整備で、より便利になる
大田区を再発見!

ゲーム感覚?!
体験型街歩き
EVENT

参加者募集中

おおた鉄道タウントレック
2023年11月18日(土) 会場: カムカム新蒲田
(新蒲田一丁目緑地施設) 大田区新蒲田1-18-18

全員に参加賞あり!
エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込
※お申込期間: 10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【大田区在住・在勤・在学】一般: 500円・小学生以下: 無料
【大田外】一般: 2,000円・小学生以下: 500円(未就学児無料)

【お申込期間】10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【お申込方法】エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込

【お申込料】1500円(お申込料)

【お申込対象】18歳以上(小学生以下は無料)

【お申込期間】10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【お申込方法】エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込

【お申込料】1500円(お申込料)

【お申込対象】18歳以上(小学生以下は無料)

【お申込期間】10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【お申込方法】エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込

【お申込料】1500円(お申込料)

【お申込対象】18歳以上(小学生以下は無料)

【お申込期間】10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【お申込方法】エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込

【お申込料】1500円(お申込料)

【お申込対象】18歳以上(小学生以下は無料)

【お申込期間】10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【お申込方法】エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込

【お申込料】1500円(お申込料)

【お申込対象】18歳以上(小学生以下は無料)

【お申込期間】10月10日(火)～10月25日(水) 18時迄

【お申込方法】エントリーサイト「e-moshicomm」よりお申込

おおた鉄道タウントレックチラシ



チェックポイント・マップ



チェックポイントで写真撮影

課題

「地元で愛されるきっかけをつくりたい」

#企業と地域をつなぐ #認知拡大 #プレゼントキャンペーン

太陽生命は「名古屋生まれ」ですが、地元でその事実があまり知られていないという課題がありました。その解決に向け、地元紙である中日新聞とタッグを組んだのが2021年。2024年には創立130周年企画として、中日新聞Webに開設した特設サイトで、クイズに正解しなければ応募できない読者プレゼントを実施。多くの応募、認知拡大に貢献しました。

「太陽生命は実は名古屋生まれ！」キャンペーン

第1弾 (2021年)

中日ドラゴンズのマスコット「ドアラ」と太陽生命のマスコット「いかなきゃ」との手紙交換



第2弾 (2022年～)

クアオルト健康ウォーキングで東海エリアを元気に！キャンペーン



第3弾 (2024年)

太陽生命130周年企画
「太陽生命は実は名古屋生まれ! 劇場版」読者プレゼント



正解しないと応募できない仕組み



太陽生命130周年企画 「太陽生命は実は名古屋生まれ! 劇場版」

課題 名古屋生まれの会社であることを地元の方に知られていない。

目的 中日新聞読者に「太陽生命が名古屋生まれの会社であることを認知してもらう。

プランニング 「太陽生命は名古屋生まれ」の読者プレゼントクイズを、中日新聞Webに開設した特設ページで実施。太陽生命ホームページへの誘導も図る。特設ページへの誘導促進は、中日新聞プラス読者プレゼントページでも行う。

反響・効果 読者プレゼントに8,621件の応募。「太陽生命は名古屋生まれ」という事実の東海エリアでの認知度向上に貢献した。

「太陽生命は実は名古屋生まれ」を認知・理解し、プレゼント応募した人数

応募数 **8,621人**

中日新聞 **プラス**

読者プレゼントの情報を
中日新聞プラス
プレゼントページに掲載
応募を強力にブースト!

課題

「リアルイベントの集客を図りたい」

#中日新聞プラスのメールマガジン #イベント集客 #応募促進

名古屋をはじめとする東海エリアでも、DXや生成AIセミナー、土地活用や資産活用セミナーといったリアルイベントがよく開催されています。そこで課題になるのが集客です。東海エリアは企業単独での集客が難しい土地柄なのです。読者向け会員WEBサービス「中日新聞プラス」のメールマガジンを活用する企業が増えています。

中日新聞 プラス

「中日新聞プラス」は、会員数約48万人の新聞読者向けWEBサービス。プレゼント掲載、アンケート、メール配信（メールマガジン）を通じ、企業・団体の商品やサービスを訴求できます。



媒体資料 ▶ 中日新聞グループWebメディア P1

PET博なごや



中日新聞  プラス
プラスインフォメーション

Pet博なごや
Pet Exposition 2024

ペットファンのための楽しい参加型イベント！
国内最大級のペット総合イベント「Pet博なごや」
2024.7.13（土）・14（日）・15（月・祝）開催
会場：ポートメッセなごや第2展示館

ペット同伴OK！
展示ゾーン・ブースゾーン体験・参加型ゾーンイベントステータ

公式HPで最新情報更新中！>

7/13（土）・14（日）開催！TICA公認キャットショー
全国から猫自慢のオーナーが集うキャットショー！

7/15（月・祝）のみ開催！ブリード卒業犬・猫譲渡会

HTMLメール

集客



Pet博なごや

大会会場 講演会場 展示会場 募集会場 なごや会場

利用規定 イベント内容 スケジュール アクセス

Pet博なごや
Pet Exposition 2024

2024.7.13（土）・14（日）・15（月・祝）
AM10:00～PM5:00
ポートメッセなごや第2展示館

ペット同伴OK!

PET博なごや

課題

名古屋は企業が直接イベント集客しにくい。

目的

名古屋で開催するリアルイベントに人を集めたい。

プランニング

写真を使ったHTMLメール形式の「プラスインフォメーション」で幅広い層にアピール。

反響・効果

ペット同伴の来場者で大盛況に終わる。

中日新聞プラス

2種類の
メールマガジン



プラスインフォメーション

性・年代別、居住地、職業別で配信先をセグメント、毎週月・金配信。

ウィークリーPR

毎週水曜日配信のウィークリーメールマガジン（約18万通）のPR枠にお知らせを掲載。

「子育て層にアプローチしたい」

#親子イベント #子育て層の集客 #子育て層の課題発見

子どもを社会の真ん中に置こうと社会全体の意識が大きく変わり始めました。東京新聞運営の子育てサイト「東京すくすく」の提供するコンテンツは、すべて記者による取材記事。サイト開設以来、寄せられた悩みや共感のコメントは5年間で1万3000件を超えます。信頼できる情報の共有によって子育て層を応援すると同時に、さまざまなタイアップ記事やイベントを通じて、子育て層の課題を発見する場にもなっています。

子どもとの日々を支える **東京すくすく**



<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/>

媒体資料 ▶ 中日新聞グループWebメディア P5



「都バスの総合病院」をこども記者が取材 初めて知ることがいっぱい!



都営三田線の新型車両「6500形」大迫力のドッキングをこども記者が取材 洗車は車内から!



さまざまな企業・団体とのタイアップも

すくすく茶話会(場所:東京家政大学)

子ども連れでも大人が満足できる映画を気兼ねなく観たいという要望から実施したイベント。東京家政大学の保育士や学生の協力で親子とも安心して楽しめる場所を作り上げた。
<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/message/14467/>



こども家庭庁

ヤングケアラーを取り巻く周囲の理解や社会的支援などの課題に対する啓発活動として東京すくすくタイアップ(記事広告)を利用。
<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/education/82983/>



都営交通(東京都交通局) × 東京すくすく「夏休みわくわくキャンペーン」

わくわくこども探検隊(都営地下鉄・都電・都バス)、なりきりアナウンサー(TOKYO MX)

課題

少子化を受け、社会全体で子どもを大切にする機運を醸成したいと、東京都の「こどもスマイルムーブメント」と、「東京すくすく」が連携。「よりよい未来の東京」実現のために取り組みを検討。

プランニング

新聞記者と一緒に、こどもたちが都営交通の仕事の裏側を取材して絵日記や壁新聞を作成。都営交通のバスの車内貼りや駅貼りポスターなどで掲出。

反響・効果

普段は入れない施設での取材体験と記者のアドバイスで作るオリジナル新聞に参加者や保護者から高い評価を得た。

「中部経済圏のマーケットに参入したい」

#市場参入 #新聞社の取材力 #新聞社発のバーティカルメディア

「名古屋のビジネスは難しい」と言われます。「地元のつながりが強い」「縁故を大事にする」など理由はさまざま。「中日BIZナビ」は、中日新聞が集めた東海4県(愛知・岐阜・三重・静岡)の経済ニュースを全て公開し、経済担当記者が編集する会員制情報サイトです。参入が難しいと言われる中部経済圏のビジネスをつなぐポータル役割を果たします。

中日新聞社が運営する東海4県の
会員制経済情報サイト「中日BIZナビ」 **中日BIZナビ**



<https://biz.chunichi.co.jp/>

媒体資料 ▶ 中日新聞グループWebメディア P2

中日BIZナビ

コンテンツ3つの特徴

1. 東海4県の経済ニュースを網羅

東海地方にある中日新聞の取材網(76拠点)で集めた経済情報を全て収録

2. 他の追従を許さない「速報」

ニュースがあれば即アップ。決算情報は記事自動生成で数分でアップ!

3. 強力な「独自コンテンツ」

- 会見録データベース
- BIZ ナビ特集
- リーダーインタビュー

記者しか参加できない
企業トップの記者会見
を全文書き起こし!



会見第一報を会員にメール配信・TOPページ公開

● PREMIUM MIND

中日BIZナビ編集部による
PRインタビュー企画

https://biz.chunichi.co.jp/static/index_all.php?param=premium-mind



TOP > ニュース

【PR】400年来変わらぬ味噌づくりで地域に貢献 技術と
伝統を未来へつなぐカクキュー八丁味噌

SDGs 中継主要 豊田東部(三河) 食品メーカー

2023年3月28日 15:00 (2023年3月29日 17:37 更新)

大 中 小



全国にその名を知られる愛知の名産品、八丁味噌。米麹を使わず豆麹で作られる豆味噌で、江戸時代初期に岡崎城から西へ八丁(約870メートル)の距離にある八丁村(現在の岡崎市八丁町)で作られ始め、現在も2料の老舗が八丁味噌づくりを行っている。その1軒、「カクキュー八丁味噌」の19代目を継ぐ早川久右衛門さんに、味噌づくりのこだわりや文化継承への思いを伺った。

希望に応じて掲載できるインタビュー企画

● NAGOYA ビジネスサロンの開催

名古屋地区に赴任した企業の支店長や「中日BIZナビ」の法人会員を対象にしたセミナー&懇親会



<https://biz.chunichi.co.jp/news/article/10/84005/>



「新聞広告を使う説得材料が欲しい」

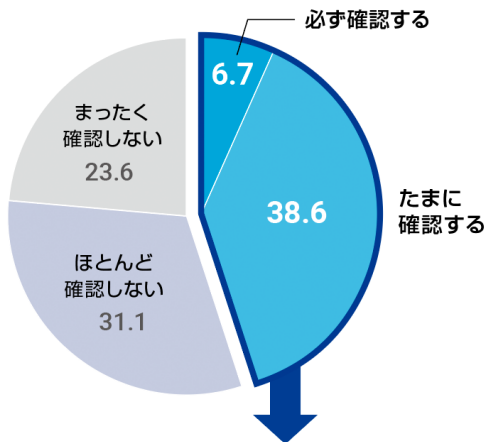
#メッセージの信頼性 #ミッドファネル #新聞広告×Web広告

新聞、Web、テレビ、メディアにはそれぞれ得意分野があります。新聞、新聞広告の最大の強みは、情報源としての信頼性。「興味・関心」「比較・検討」といった購買プロセスに効果的なだけでなく、Web広告やSNSに新聞広告を組み合わせることで、企業メッセージはさらに広く、深く生活者に届きます。

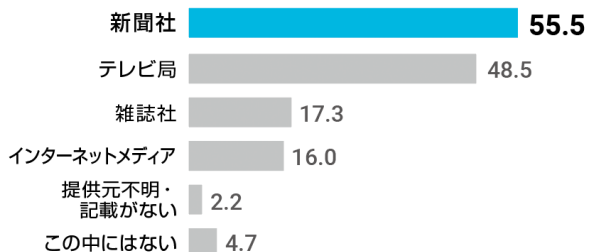
1. 新聞社発の情報は信頼される

●インターネットで入手する情報の提供元確認

ネットやSNSからニュースを見聞きしている人 (n=983/単位:%)

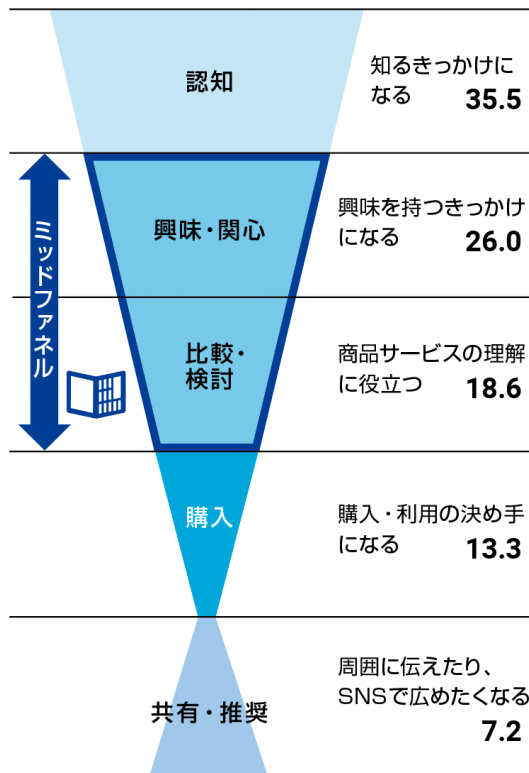


●情報の提供元として信頼できるもの (n=445/単位:%)



2. 新聞は「興味・関心」「比較・検討」のミッドファネルに効果的

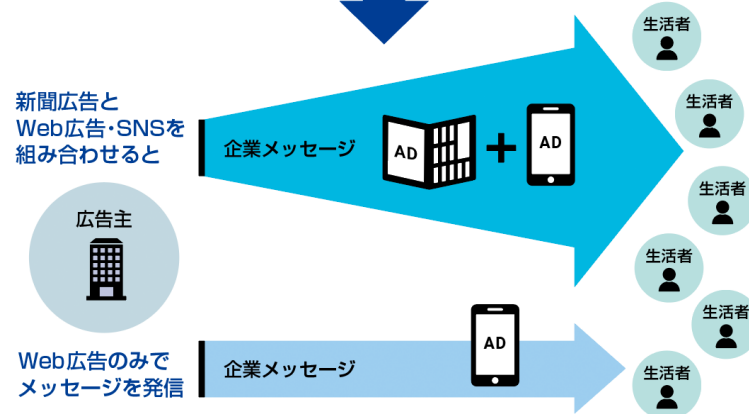
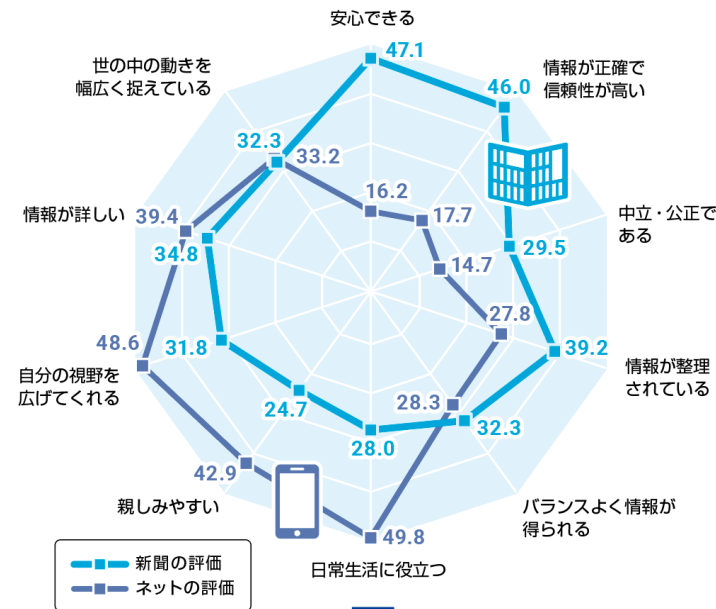
週1日以上新聞接触者 (n=639/単位:%)



3. 新聞とデジタルは補完関係のメディア

●メディアの印象・評価で重視すること

※上位10項目を抽出。(n=1,200/単位:%)



企業メッセージは、新聞とデジタルの組み合わせでより広く深く届きます。

中日新聞グループのメディアパワー

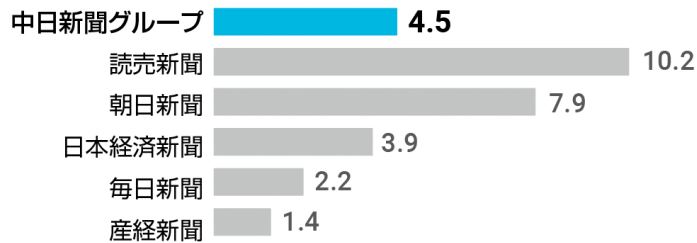
新聞（一般紙）の発行部数は全国3位
首都圏・中部圏の1都15県で約230万部

販売部数

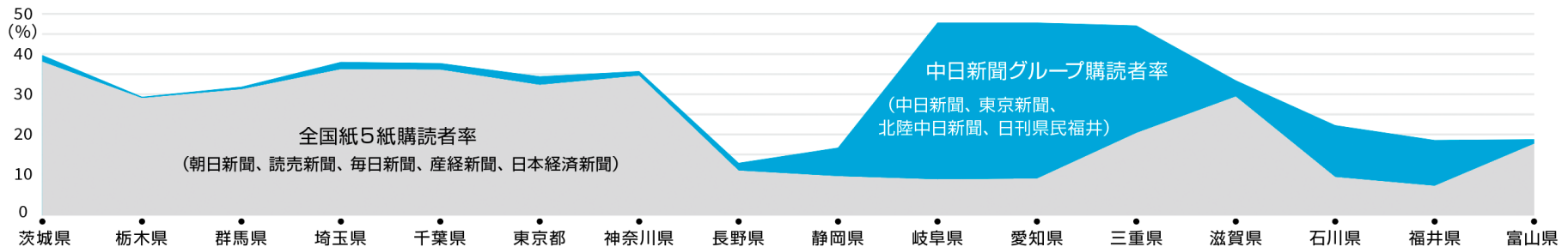
朝刊 **2,274,583** 部

夕刊 **261,808** 部

購読者率（朝刊） (n=98,512) (単位：%)



全国紙だけでは中部・東海エリアに届きません



北陸中日新聞
72,418部

日刊県民福井
30,154部

中日新聞
1,799,827部

東京新聞
372,184部

※部数は朝刊
※福井県では中日新聞と日刊県民福井を、静岡県では中日新聞と東京新聞を発行
出典：販売部数は日本ABC協会新聞発行社レポート2023年7月～12月
県別部数は各月15日付部数の6カ月平均のため、合計が販売部数と一致しません

さまざまな課題にグループ力でコミット

中日新聞

中日新聞Web

中日BIZナビ

中日スポーツ

東京新聞

中日スポーツ・
東京中日スポーツWeb

一般紙、スポーツ紙、Web、
リアル、オンライン、ハイブリッドイベント、
グループパワーを生かしたさまざまな展開が可能です

東京新聞デジタル

Dragons

バンテリンドームナゴヤ

中日ビル

東京すくすく

日刊県民福井

北陸中日新聞

中日新聞社が発行する小中学生向けの新聞「中日こどもウイークリー」、中日新聞や東京新聞のノンブル入りでエリアやサイズも選べる地域広告版、ドラゴンズ、グランパスファンに特化した雑誌など、サブメディアも充実。

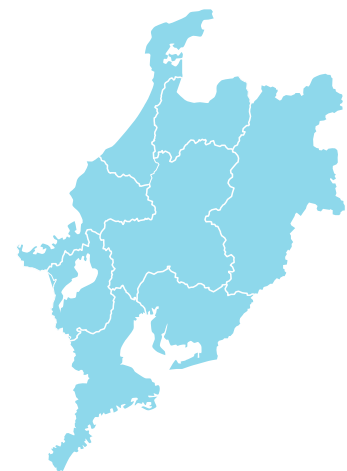
中日こどもウイークリー

中部9県の小・中学生を持つ家庭に講読していただいている「中日こどもウイークリー」。文字が大きく、ほぼ全ての漢字に振り仮名を付けています。ニュースを分かりやすく解説するほか、イラストや写真を豊富に使ってさまざまな話題を紹介。探究学習にも役立つと好評です。

体裁 タブロイド判12Pオールカラー

発行エリア 中部9県(愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山・滋賀・長野)

発行日 毎週土曜日



地域広告版

●新聞の信頼性の高さを手軽に活用

中日新聞や東京新聞のノンブルが刷り込まれます。手軽さに加えて、新聞に寄せられる信頼性を活用いただけます。

●サイズや配布エリアを選択可能

予算や訴求内容に応じて、サイズやページ数、紙質、配布部数、配布エリアを選ぶことができます。

●他用途向けの増刷にも対応

地域広告版以外の用途で増刷することも可能。DMや手配り配布などのセールスツールにも活用できます。



雑誌

月刊ドラゴンズ



80,000部

発行日 毎月22日

体裁 A4判

選手のプライベートやオフタイム情報などドラファン必読の月刊誌

月刊グラン



40,000部

発行日 毎月12日

体裁 A4判

活躍し続ける名古屋グランパスとサポーターを結ぶ月刊誌

多くの文化・スポーツ事業、イベントを開催しています。中日新聞、東京新聞主催事業を活用したさまざまな企業・団体のコミュニケーション展開が可能です。

中日新聞

■ 展覧会

リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに
御霊屋改修記念 尾張徳川家と菩提寺建中寺
さくらももこ展
生誕130年記念 北川民次展—メキシコから日本へ
或る賞鑑家の眼—大久保裕司の蒐集品—
エッシャー 不思議のヒミツ
ごろごろまるまるネコづくし
アブソリュート・チェアーズ
福井県×タカシマヤ 発掘 恐竜王国展
第16回現代茶陶展
みやびの世界 魅惑の源氏物語／宮廷文化の華
相国寺展—金閣・銀閣 鳳凰がみつめた美の歴史
アイヌの美しき手仕事
再興第109回院展
キース・ヘリング展
人間国宝 加藤孝造展 追悼展

会期

6月8日～8月25日
6月8日～7月21日
6月22日～7月28日
6月29日～9月8日
7月13日～9月23日
7月13日～9月23日
7月13日～9月8日
7月18日～9月23日
7月31日～8月12日
8月10日～18日
9月22日～11月4日
10月11日～11月27日
10月12日～12月8日
11月22日～12月2日
11月28日～25年1月19日
11月30日～25年3月16日

会場

岐阜県現代陶芸美術館
徳川美術館
松坂屋美術館
名古屋市美術館
豊田市民芸館
豊田市美術館
安城市歴史博物館
愛知県美術館
ジェイアール名古屋タカシマヤ
セラトピア土岐
徳川美術館、名古屋市蓬左文庫
愛知県美術館
豊田市民芸館
松坂屋美術館
静岡市美術館
岐阜県現代陶芸美術館

■ 舞台

劇団四季新作オリジナルミュージカル バケモノの子
第67回中部日本吹奏楽コンクール本大会
名匠狂言会
第77回中部日本高等学校演劇大会

9月11日～2025年2月9日
10月5日、6日
11月8日
12月25日～27日

名古屋四季劇場
豊田市民文化会館
名古屋能楽堂
富山県民会館

■ イベント

第8回名古屋城こども王位戦
にっぽんど真ん中祭り
広小路夏まつり
やっとかめ文化祭 DOORS
備える！中日サバイバルキャンプ

8月3日
8月23日～25日
8月17日、18日
10月下旬～11月中旬
11月3日、4日

吹上ホール※9月、名古屋城本丸御殿
久屋大通公園一帯、県内各所、オンライン
名古屋・広小路通
名古屋市内各地
愛知県内

■ スポーツ

中日少年野球・ボッカサッポロ杯名古屋市予選・愛知県大会
大相撲名古屋場所
長良川国際トライアスロン
中日杯岐阜女子アマゴルフ
DRAGONS CLASSIC LEGEND GAME 2024
中部ジュニアゴルフ

6月29日～8月5日
7月14日～28日
7月21日
7月23日
7月25日
7月25日、26日

名古屋市
ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）
海津市
明世CC中日スポーツ創刊70周年記念
パンテリンドームナゴヤ
東名古屋CC

ドラゴンズカップ中学硬式野球
中日レディースカップゴルフ
プロ野球公式戦・中日ドラゴンズ対横浜DeNAベイスターズ
中部日本地区選抜中学軟式野球
中部年代別ゴルフ
中部ジュニア親子ゴルフ
秋の女性レクバレー
メニコンカップ日本クラブユースサッカー東西対抗戦
中部実業団陸上
中部レディスゴルフ
名古屋少年サッカー
中部日本ゴルフマスターズ
いびがわマラソン
中部・北陸実業団対抗駅伝
高円宮杯JFA全日本ユースU-15サッカー東海大会
中部日本都市対抗軟式野球
ドームドッジ2024inナゴヤ
中部女子ゴルフクラブ対抗戦
中部シニアチャンピオンズゴルフ
野口みずき杯中日三重お伊勢さんマラソン
東海学生駅伝
みえ松阪マラソン

7月30日～8月27日
7月31日、8月1日
8月6日
8月8日～11日
8月23日
9月1日
9月11日～10月8日
9月16日
10月5日、6日
10月17日
10月中旬～25年3月上旬
11月7日、8日
11月10日
11月10日
11月上旬
11月15日～18日
11月24日
11月25日
12月5日
12月7日、8日
12月8日
12月15日

パンテリンドームナゴヤほか
名四CC
岐阜・長良川球場
蒲郡市公園グラウンド
三好CC
名古屋広幡GC
名古屋市
岡崎・龍北スタジアム
多治見市
名古屋広幡GC
名古屋市
日本ラインGC
岐阜県揖斐川町
田原市
愛知県
名古屋市ほか
パンテリンドームナゴヤ
東名古屋CC
スリーレイクスCC
伊勢市
知多半島
松阪市

東京新聞

■ 展覧会

ジブリパークとジブリ展
吉田克朗展
生誕130年 武井武雄展～幻想の世界へようこそ～
空想旅行案内人ジャン＝ミッシェル・フォロン
生誕130年記念 北川民次展—メキシコから日本へ
第46回東京書作展

会期

6月28日～9月23日
7月13日～9月23日
7月6日～8月25日
7月13日～9月23日
9月21日～11月17日
11月19日～24日

会場

寺田倉庫 B&C HALL / E HALL
埼玉県立近代美術館
目黒区美術館
東京ステーションギャラリー
世田谷美術館
東京都美術館

■ 舞台

第58回推薦名流舞踊大会
第31回名流祭

9月19日
10月12日

浅草公会堂
浅草公会堂

■ イベント

日比谷らくご倶楽部 つる子・わん文二人会

9月22日

内幸町ホール

■ スポーツ

高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球大会
みやこdeタウントレック
グリーンリボンランニングフェスティバル
第45回東京都小学生バレーボール選手権大会
第30回日本トライアスロン選手権

8月15日～21日
9月29日
10月14日
10月下旬
11月17日

神宮球場ほか
都内
駒沢オリンピック公園陸上競技場
都内
お台場

(2024年7月末現在)

広告効果調査・主要5メディアの接触動態調査

新聞広告共通調査プラットフォーム

J-MONITOR www.j-monitor.net

中日新聞社は新聞広告共通調査プラットフォーム「J-MONITOR」を中日新聞、東京新聞で採用しています。読者モニターパネルを参加紙共通の手続き、手順で募集・運用し、同じ条件、同じ方法で紙面調査を行うものです。新聞広告調査の「標準」ともいえる客観的調査手法と多くの蓄積データにより、様々な比較、分析、効果検証が可能です。

J-MONITORの詳細は
WEB APPROACHを
ご参照ください



J-MONITOR参加紙 (2024年4月現在14紙)

- 首都圏 東京新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞、日本経済新聞、毎日新聞、日刊スポーツ
- 近畿圏 読売新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞 中京圏 中日新聞、読売新聞、朝日新聞
- 北海道 読売新聞、朝日新聞、北海道新聞 福岡県 読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、西日本新聞
- 宮城県 河北新報 新潟県 新潟日報 長野県 信濃毎日新聞 広島県 中国新聞

調査設計

	調査対象者	調査エリア	抽出方法	調査方法	標本サイズ	調査時間	調査機関
中日新聞	朝刊購読者 15歳~69歳 の男女個人	中京圏(愛知・岐阜・三重)	新聞広告による紙面公募 (※)	インターネット	900 (1系列300)	広告掲載 翌日 0:00~ 24:00	ビデオ リサーチ
東京新聞		首都圏(東京・神奈川・埼玉・千葉)			600 (1系列300)		

※応募者は「J-READ」の当該地域・対象者における性×年齢等の属性に従い割り付け。紙面公募の不足分は、インターネット調査モニターパネルへの公募で補充

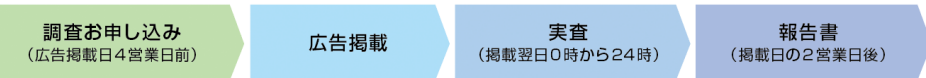
2種類の調査手法

J-MONITORでは、個別の広告の反響や効果測定が可能で、質問項目を固定した[定型調査]と、設問を自由に設定できる[カスタム調査]があります。

定型調査 | 8問の固定質問による調査(自由回答1問を含む)

調査スケジュール

報告書はA4横20枚+自由回答(各社共通)15万円(税別)



カスタム調査 | 調査票を自由に設定できる調査(原則20問まで)

調査スケジュール

報告書はA3横3枚程度45万円~(税別) ※定型調査8問+カスタム調査最大12問も可能です



定型調査の質問項目

「●●●●」に調査対象広告の「広告または商品ブランド名」を入れて行います。

広告接触状況

- Q1 (●面をご覧ください)
あなたは●面の下記の位置にある広告をご覧になりましたか。
①確かに見た ②見たような気がする ③見た覚えがない

広告評価(理解度・興味度・好感度・信頼度)

- Q2 あなたは「●●●●」の広告をご覧になって、どのように感じましたか。
①広告が理解できた ②広告に好感を持った
③広告に興味を持った ④広告が信頼できる
※それぞれ「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階

広告の印象

- Q3 あなたは「●●●●」の広告をご覧になって、どのような印象をお持ちになりましたか。
あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)
①目立つ ②センスがよい
③文章が読みやすい ④文字の大きさがちょうどよい
⑤共感できる ⑥説得力がある
⑦よい広告を出していると思う ⑧自分たち向けの
⑨役に立つ ⑩個性的である
⑪おもしろい ⑫タイミングがよい
⑬話題性がある ⑭この中にはない

調査前企業(ブランド)認知

- Q4 あなたはこの広告をご覧になる前から「●●●●」をご存じでしたか。
①事業内容(商品内容)まで知っている
②名前は聞いたことがある
③この広告を見て初めて知った
④わからない

商品・サービスに対する購入・利用の経験や意向

- Q5 あなたはこの広告をご覧になって「●●●●」の商品・サービスを今後機会があれば購入・利用の候補にしてもよいと思いませんか。
①購入・利用の候補にしてもよい(購入・利用経験あり)
②購入・利用の候補にしてもよい(購入・利用経験なし)
③購入・利用の候補にするのではないと思う(購入・利用経験あり)
④購入・利用の候補にするのではないと思う(購入・利用経験なし)
⑤この広告ではあてはまらない

広告による態度変容

- Q6 この広告をご覧になって、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)
①初めて「●●●●」を知った
②あらためて「●●●●」に注目した
③「●●●●」のホームページを見たいと思った
④インターネット(ホームページ以外)で比較したり、調べてみたいと思った
⑤店頭で確認しようと思った
⑥まわりの人と話題にしたいと思った(ブログ、SNSの発信含む)
⑦この中にはあてはまるものはない

他媒体での同一内容広告接触経験

- Q7 あなたはこの広告の内容を今回の広告以外で見聞きしましたか。(複数回答)
①この広告以外の新聞記事・広告で見た
②新聞の折込チラシで見た
③テレビ番組・CMで見た
④ラジオ番組・CMで聞いた
⑤雑誌記事・広告で見た
⑥交通広告(駅・電車など)や外・店頭広告で見た
⑦インターネット(パソコンや携帯など)で見た
⑧その他のもので見聞きした
⑨見聞きしていない

自由回答

- Q8 この広告についての感想や意見を自由に記入ください。
※自由回答の設問文は、自由に変更できます(200文字以内)。設問を工夫すれば商品自体のマーケティング活動全体の参考となる情報を得ることもできます。

※質問項目は今後変更になる場合があります

全国メディアプロフィールサーベイ 2023 (全国MPS2023)

中日新聞社は、電通、ADKマーケティング・ソリューションズ、朝日新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社の6社共同で実施した調査データ「全国メディアプロフィールサーベイ2023」(以下「全国MPS 2023」)を提供しています。全国MPS 2023は、47都道府県全域を対象に実施した主要5メディア(新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネット)の接触動態調査です。調査データを活用することで、エリアマーケティングやターゲット分析、主要5メディアを横断したプランニングが可能です。

<全国MPS2023 調査概要>

- 目的:生活者の主要5メディアへの接触状況の把握
- 対象エリア:全国(47都道府県全域)
- 対象者条件:15~79歳(中学生は除く)
- サンプル数:30154
- 調査手法:インターネット調査
- 調査期間:2023年7月3日~8月16日
- 調査機関:株式会社ビデオリサーチ
- ※データファイル、またはクロス集計・R&F分析およびデータ出力が可能な「VR-CIP」(株式会社ビデオリサーチのASPサービス)にて、全国・ブロック別・県別の調査データを提供。

中日新聞グループの歴史

明治

- 17.9.25 東京・銀座「新聞町」にて『今日新聞』創刊
- 19.3 大島宇吉ら自由民権運動の同志が、名古屋市宮町で『無題号』を、また竹内善七ら文化人が『金城たより』創刊
- 20.7.31 無題号を発展、日刊『愛知絵入新聞』を創刊
- 21.7.5 愛知絵入新聞を『新愛知』と改題
- 21.11.16 今日新聞を『みやこ新聞』と改題
- 22.2.1 みやこ新聞を『都新聞』と改題
- 23.2.1 『国民新聞』創刊
- 27.4.21 金城たよりを『真金城』と改題
- 29.7.7 真金城を『中京新報』と改題
- 39.11.3 中京新報を譲り受けて『名古屋新聞』を創刊、真金城からの紙齢を引き継ぐ

昭和

- 8.5.1 新愛知が『国民新聞』の経営権を譲り受け、東京に進出
- 17.9.1 新愛知と名古屋新聞社が合併、株式会社中部日本新聞社を設立。『中部日本新聞』を創刊
- 17.10.1 都新聞と国民新聞が合併、『東京新聞』を創刊
- 27.3 『北陸新聞』創刊
- 29.2.25 『中日スポーツ』創刊
- 31.2.23 『東京中日新聞』創刊
- 35.11.1 『北陸中日新聞』創刊。北陸新聞から紙齢を引き継ぐ
- 38.11.1 中部日本新聞社と東京新聞社が業務提携
- 40.1.1 中部日本新聞を『中日新聞』と改題
- 42.10.1 東京新聞社の営業権譲り受け、『東京新聞』を発行。品川の新社屋に中日新聞東京本社を置く
- 45.3.1 東京中日新聞を『東京中日スポーツ』と改題
- 52.7.1 『日刊福井』創刊
- 56.4.25 東海本社開設4本体制となる

平成・令和

- 5.1 中日新聞社と日刊福井業務提携
- 6.6.15 日刊福井を『日刊県民福井』と改題
- 18.10.1 中日新聞東京本社を品川から日比谷へ移転
- 22.10.12 中日新聞北陸本社を移転
- 22.12.1 品川フロントビル完成
- 23.8.6 『中日こどもウイークリー』創刊
- 24.6.12 会員制インターネットサービス『中日新聞プラス』サービス開始
- 26.8.1 『東京新聞電子版』サービス開始
- 31.3.29 『東京中日スポーツ電子版』サービス開始
- 4.2.17 『中日新聞電子版』サービス開始
- 4.11.1 『ジブリパーク』第1期開園
- 5.11.1 『ジブリパーク』第2期開園
- 6.4.23 名古屋・栄に中日ビル開業
- 6.9.25 東京新聞140周年
- 8.3 中日新聞社創業140周年

